

第 9 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 17 年 11 月 2 日 (水) 17:30~21:50

場 所 西宮市男女共同参画センター

出席者 (委員) 松本(誠)、川谷、畑、村岡、長峯、岡田、加藤、佐々木、中川
浅見、伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷、山仲
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、合田
(県関係部局) 福田、鶴崎〔農林水産部〕、橘〔公園緑地課〕、
糟谷〔河川整備課〕、田中、藤田〔教育委員会〕
(事務局) 前田、植田、木本

内 容(協議結果)

1 流域対策の検討

(1) 河川管理者から、遊水地の検討(遊水地による流量カットの算定結果)及び各戸貯留・雨水浸透施設の効果量の試算結果について説明があり、また、中川委員から流域対策における課題について整理状況等の説明があった。これらを踏まえ協議した結果、次のことを確認した。

流域対策による流出抑制効果量の算定結果(第8回WT資料)について、水田、ため池に関する前提条件等の表現を修正した上で、次回流域委員会(第28回、11月8日開催予定)に提出し、報告する。

流域対策案の課題項目等を整理の上、次回流域委員会に提出し、報告する。

委員は、流域対策における課題について内容を検討し、第28回流域委員会で意見があれば述べる。

遊水地、流域対策の課題については、今後もWTで継続して協議する。

(2) 「武庫川流域における流域対策の実績等」について、次回流域委員会に提出し、報告する。

(主な意見)

- ・ 遊水地と、現状で遊水機能を有する箇所とは、区別して議論していく必要がある。
- ・ 各対策の整備のためのコストと効果についても議論していく必要がある。
- ・ 流域対策の評価項目の一つとして、法規制の面を検討していく必要があるのではないか。

2 今後の進め方

(1) 次回会議の協議事項

河道計画の検討(継続)

遊水地(継続)

流域対策の課題(継続)

森林の保水、洪水抑制機能

利水ダムの治水活用の可能性

3 今後の日程(開催日時)

次回 (第10回) 11月9日(水) 17:30~

次々回 (第11回) 11月15日(火) 17:30~

次々々回(第12回) 11月25日(金) 17:30~